

師走、一年納めの月となりました。日暮れも早く、冬本番の気配が感じられる季節となつてきます。

年の暮れになると、各家々では「煤払い」をして、お正月を迎える準備を始めます（元々は十三日に行つたものです）。神棚・仏壇を清め、神棚に新しい稻藁で作つた「しめ縄」を張り、新米でお餅をついて「お供え」を作り、青々とした松竹で作つた「門松」を立てて「歳神様」を迎えるための準備をします。

「歳神様」の「とし」とは、「稻」を意味し、豊かさや恵み・生命の象徴です。ですから古来・日本では、お正月になると「歳神様から新しい命をいただき、一歳年をとる」という「数え年」という年齢の数え方をしてきました。今日でも、私たち日本人は様々な人生儀礼に関する年齢は「数え年」で行っています。これは、成長過程の節目ごとに充実した人生が送れるよう、神様に感謝と祈りを捧げ、常に神様との御縁を持ち続けてきている証です。清々しい家、清々しい心で歳神様（新年）を迎える初詣をしたいものです。

## 今月の行事

### お正月様頒布始め ～中旬

六日 いいおか幼稚園 遊戯会

七日 大雪

一二日 壇・産靈神社 例祭（初卯）

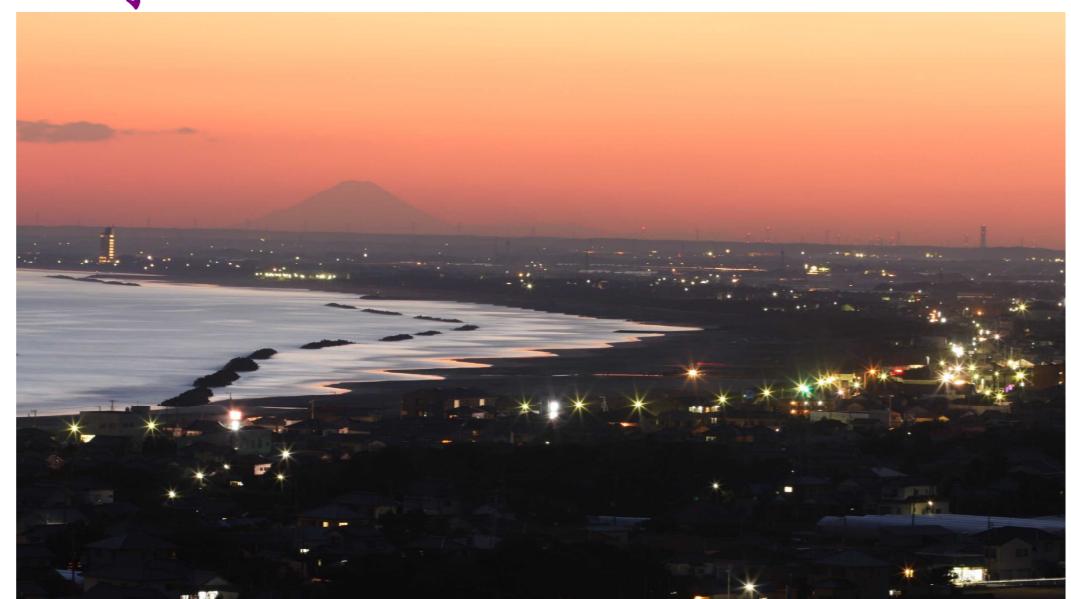
冬至

二四日 いいおか幼稚園 終業式

三一日 年越の大祓（二八時）

一月一日 元日 正月祈念（御祈祷）

○時～一時 七時～一六時  
二日以降は 八時～一六時



新年の初詣は、各種感染症の感染予防のため、対面する際にはマスク着用の上、「密」にならぬよう、気をつけてお参り下さい。

令和八年の節分は**二月三日**です。古新札等のお焚き上げは行いません。

玉崎神社から頒布された神札・お守りは、正月三が日に社務所へお持ち下さい。